

神奈川県在宅保健師会会報

第19号

いちょうの会

平成30年8月



平成30年5月30日 総会

会長あいさつ



皆様お元気にお過ごしのことと存じます。神奈川県在宅保健師会「いちょうの会」は平成12年11月に設立され、今年で18年目を迎えました。未だ少し先の様な気もしますが、設立20周年記念行事について検討が始まっており、月日の経つのはとても早いものと感じつつ、一方では私たちに与えられた仕事に対し、真剣に向き合い、人々の健康寿命の延伸にきちんと役目を果たしていくことの重要性を痛感しているところです。

縁あって会長をお引き受けして4年目を迎え、無事役目を果たしてこられたのも、会員の皆様の日々の研鑽と、努力の賜と深く感謝するとともに、国保連合会の皆様の日頃のご支援、ご協力に厚く御礼申し上げます。

今年度の活動について少しご紹介しますと、会報が皆様のお手元に届く頃には、自身の健康の保持増進のためにも役立つ「体幹を鍛えて、健康な体に！」～美しい姿勢、肩こり・腰痛・尿漏れ予防のために～と題した研修会、交流会を無事に終えていると思います。この研修会のシリーズは当初から「自分磨き」をテーマに企画してきたものです。交流会は、日頃あまり交流することのない会員同士で、短時間ではありますが、毎年ゲーム・グループワーク等をしてしながら触れ合うことで、仲間意識が生まれてきていることをうれしく感じています。

災害ボランティアについては、これまで登録制度を実施していましたが、現段階では発災時に登録者を派遣する体制が整っていないこと等から、今後は研修会を年1回継続することで、総会にて了承を得ました。私たちが持っている公衆衛生的視点は、発災直後の避難所等では大変貴重な知識・技術であり、何らかのお役に立てると考え、そのために必要な知識・技術を、今後も研修会として実施していきたいと考えています。

健康劇「いちょう座」の活動は、上演先ではいつも大変高い評価をいただき、啓発活動として大きな役割を果たしていると考えています。上演の準備に時間がかかること、座員が少ないことが現在の悩みです。「いちょう座」では座員を募集しておりますので、会員の皆様、興味がある方は是非ご参加をよろしくお願いいたします。また、新しい演目を検討していますので、ご期待ください。市町村等の保険者の皆様、上演場所があつての「いちょう座」です、「健康まつり」「健康普及員講座」等でご依頼くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

今年度から国保連合会では、新規事業が始まります。私たちもその趣旨に応えるべく、努力していく必要があると考えています。1年間、有意義な活動ができますよう、役員一同努力する所存です。そして、会員の皆様からのご意見・アイデアが大きな力となりますので、お声を聴かせていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

神奈川県在宅保健師会「いちょうの会」

会長 大竹 ひろ子

*** 議 題 ***

1. 平成 29 年度事業実施報告
2. 平成 29 年度会計報告及び会計監査報告
3. 平成 30 年度事業計画 (案)
4. 平成 30 年度予算 (案)
5. 「いちょうの会」会則 (案)

以上、全ての議事が承認されました。会長から「災害ボランティア登録」については、災害が発生した際に、在宅保健師を希望する自治体へ派遣するためには、登録者が少数であり会としての体制が不十分であること。また各自治体では看護職等の災害事前登録制度等を整え始めているため、会員の希望で登録等をしていくことが現状に即した対応として平成30年度より廃止すると説明がありました。「災害ボランティア研修会」についても、会長より財政的な理由等により研修会回数は年に2回から1回になりますが、研修会の継続を事業計画にあげることを説明しました。

いちょうの会会則については、昨年度の総会で事務局より会員から会費徴収ができていない状況があり、会則改正の検討を開始した旨の報告をしました。会則の主な変更点は、① 事業については国保連合会主体と会主体で実施する事業があること。② 会費の用途は、会主体の事業に充てること。③ 会費の徴収方法を明記したことです。会費未納入者12名について精査したところ、9名は直ぐに納入があり、未納入者の殆どは、「すっかり忘れ」が多いと判明したため、会費未納入者に関する文言は加えなかったことを事務局より報告をしました。

いちょうの会「独自事業」の活動紹介

健康劇「いちょう座」

平成 29 年度 健康劇 2 保険者において上演 3 回



特定健診 (都筑区)

- 平成 29 年 6 月 29 日 (木) 14:00~14:40 『座間市市民健康講座』 会 場：サニープレイス座間
演 題：「特定健診～受けて知ろう自分のからだ」(① 主婦編 ② 自営業の主人編)

参加者数：29 名

- 保険者の感想：最後に残った時間で、保健師が会場にいる方に質問したり、自分の経験談をお話ししてくださったのですが、そういった事が良いと感じました。



あなたの血管、元気？ (都筑区)

- 平成 30 年 2 月 9 日 (金) 13:40~14:40 『保健活動推進員・食生活改善推進員全体研修』

会 場：都筑区総合庁舎

演 題：「あなたの血管、元気？」「特定健診～受けて知ろう自分のからだ」

(① 主婦編 ② 自営業の主人編) 参加者数：76 名

- 保険者の感想：健康劇が親しみやすく、場面展開も日常にありがちな状況で身近に感じることができ、内容で良かったです。また、分かりやすく簡単な言葉での説明が好評でした。

研修会・交流会

平成 29 年 7 月 23 日 (日) 13:30~16:30

会 場：平塚市民活動センター 参加者数：35 名

研修会テーマ：「脳と体の若返り筋力トレーニング」

講 師：総合能力研究所 所長 本山 輝幸氏 (元 厚生労働省認知症予防プロジェクトメンバー、第 24 代 ミスター神奈川ボディビルチャンピオン)

交流会の内容：グループでの自由な意見交換と発表。テーマは「これからのいちょうの会について」であり、主に独自事業と年会費の必要性・会員確保・健康劇などについて話し合いました。

〈会員の感想〉・筋トレの実技を通して感覚神経の活性化が認知症の改善、予防につながることを学ぶことができ、大変良かった。
・納得できるお話と実技、先生の数多い自信ある経験に満ちたお話が素晴らしかった。



本山 輝幸氏

災害ボランティア研修会

第 1 回研修会 日 時：平成 29 年 9 月 30 日 (土) 10:00~12:00

会 場：平塚市民活動センター 参加者数：15 名

内 容：災害対応カードゲーム「クロスロード」を体験して、災害時の緊急対応に備えよう！

講 師：茅ヶ崎市保健所 地域保健課 課長補佐 柴田 元子氏 保健企画課 主任 市川 奈央氏

〈会員の感想〉2 回目ですが参加型の研修は「考える」きっかけになり、とても良かった。

第 2 回研修会 日 時：平成 30 年 2 月 21 日 (水) 14:00~16:00

会 場：神奈川県国保会館 8 階会議室 参加者数：10 名

内 容：大規模災害時における保健師活動について

- ① 「大規模災害時における県保健師活動マニュアル」について

- ② 手洗いチェッカーの体験

- ③ 2011 年 3 月 11 日、東日本大震災時、あなたは、その時どう行動していましたか？

講 師：平塚保健福祉事務所 保健予防課長 片岡 光枝氏

〈会員の感想〉・手洗いのチェックは、初体験だったが思いのほか落ちていなかった。今後の手洗いの参考になった。
・災害発生直後の対応について、平常時から考えておくことが大事だと感じた。

片岡 光枝氏

手洗いチェッカー体験



在宅保健師研修会

在宅保健師研修会

◎ **第2回研修会** 日時：平成30年1月30日（火）14:00～16:00 *市町村保健師研修会合同開催
 会場：神奈川県国保会館8階会議室 参加者：在宅保健師23名、市町村保健師・神奈川県38名
 講演：「神奈川県糖尿病対策推進プログラム」の展開に向けて ～いま 私たちができること～
 講師：川崎市立川崎病院 糖尿病内科部長 神奈川県糖尿病協会 理事長・会長 津村 和夫氏
 ○神奈川県・神奈川県医師会・神奈川県糖尿病推進会議が平成29年11月に策定した「神奈川県糖尿病対策推進プログラム」について、糖尿病重症化予防をすすめる意義・対象者抽出基準・かかりつけ医や専門医との連携を含めた支援方法とその評価などについて学びました。



津村 和夫氏

◎ **第3回研修会** *第2回「いちょうの会」災害ボランティア研修会合同開催（独自事業の活動紹介参照）

- 平成30年度第1回研修会は、総会のあとに開催しました。
- ・ **テーマⅠ**：「国保連合会の保健事業について」 ～在宅保健師に期待すること～
 担当者：保健事業課長 土屋 光正氏
- ・ **健康劇**：「あなたの血管、元気？」
 演者：神奈川県在宅保健師会「いちょう座」
- ・ **テーマⅡ**：「特定健康診査等実施計画期間における特定健診・特定保健指導の運用の見直しについて」
 担当者：保健事業推進専門員 永井 雅子氏



あなたの血管、元気？



いちょう座の皆さん

○テーマⅠでは、在宅保健師に活動協力を依頼している保健事業の他、保健事業係が取り組んでいる事業や県との連携強化などについて説明がありました。健康劇では、いちょう座の皆さんによる熱演がとても好評でした。テーマⅡでは、平成30年度より開始する特定健診・保健指導の運用の見直しについて要点の解説がありました。

平成29年度 連合会事業実施報告

1 特定健診未受診者受診勧奨モデル事業（4市〈2区〉2町）

保険者	延活動日数	在宅保健師数	電話					面接	訪問	活動支援総合計
			本人	家族	留守電	不在	不通			
合計	89	7	1,630	944	1,136	1,459	372	1	0	5,542

- ・本人：直接本人と会話した数
- ・家族：本人不在で家族対応した数
- ・留守電：留守電にメッセージを残した数
- ・不在：不在の場合の数
- ・不通：電話が使用されていない数

2 生活習慣病重症化予防支援事業（8市4町）

保険者	延活動日数	在宅保健師数	非該当リスク				受診勧奨域者				糖尿病・予備群				CKD予防				保険者強化疾病				活動支援総合計
			集団	面接	電話	訪問	集団	面接	電話	訪問	集団	面接	電話	訪問	集団	面接	電話	訪問	集団	面接	電話	訪問	
合計	199	13(実10)	133	83	70	0	0	15	2,297	0	364	52	763	0	47	0	0	0	0	50	260	0	4,134

3 健康まつり事業等支援事業

事業名	保険者	保健師	実績	3事業活動実人数
健康まつり事業等支援事業	まつり	23	110(実61)	64名
	健康劇(再掲)	2	19(実8)	

平成30年度 事業実施計画

- 「いちょうの会」独自事業 (1) 会員研修会・交流会 (2) 災害ボランティア研修会 (3) 健康劇活動
- 国保連合会保健事業の実施協力 (1) 特定健診・特定保健指導実施率向上支援事業 (2) 生活習慣病重症化予防支援事業 (3) 健康まつり事業等支援事業
- 国保連合会 在宅保健師研修会
- 総会・役員会
- 「いちょうの会」会報発行
- 都道府県在宅保健師等会全国連絡会

「いちょうの会」会員としての一番の魅力について

- ・研修会で最新の保健・医療情報や保健指導等に役立つ知識・情報を学ぶ機会があること。
- ・退職後は専門的な研修を受ける場が無いいため、研修会は大変、貴重な場となっています。
- ・同じ資格を持つ職種として皆で集い、交流や意見交換ができること。
- ・参加されている会員さんのハツラツとした前向きな様子を見て、自分への励みになる。
- ・いちょう座の会員として会員同士の交流が楽しい。
- ・保健師として活動する機会があること。

「いちょうの会」として取組みたい事業について

- ・自主勉強会：① レクリエーションや体操などの指導 ② 防災について地域ごとの勉強会 ③ 母子保健
④ 最近の保健・医療・福祉の動向 ⑤ 目の疾患 ⑥ PC 操作
- ・行政と連携しながら学習会や情報交換をしたい。
- ・関東ブロックの保健師会との連携。
- ・保健師経験のない指導者が教育している場合がありますので、いちょうの会として大学の授業を支援していくことはできないでしょうか。
- ・会員交流会の場で、意見交換ができればいろいろなアイデアが出てくると思います。

「いちょうの会」に期待すること

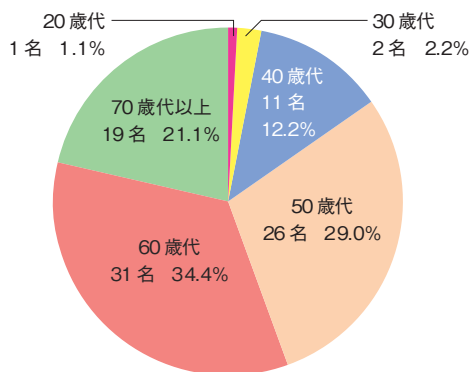
- ・研 修 会 ：① 保健医療行政・介護に関する動向 ② 最新の健康づくり、健康管理について
- ・交流会及び情報交換：① 情報交換も含め、自分だけでは気づきにくい新しいことや違う考え方に触れること。
② 個人的活動をしている方を訪ねて、いいところを取り入れたり、仲間を増やして県内の活動を活性化したいです。
③ 会員交流会の場で、意見交換ができればいろいろなアイデアが出てくると思います。あまり無理強いせず、会員の中からの声を大事にしたいと思います。
- ・年齢別死因15～29歳の第1位は自殺であり、近い将来母親となる女子高校生が「関係性の貧困」に面しています。健全な母性を育み、母親を支援できるのは保健師の得意とする分野なので、少子化対策に寄与することはできないかなど考えます。
- ・役員の負担を考えると難しいと考えます。

アンケートの結果は、追ってお知らせします。

会員の状況

会員数90名 (平成30年6月末日)

○ 年齢構成 (平均年齢60.2歳)



○ 居住地別会員の状況

市 町 村	会員数	市 町 村	会員数
横浜市	18	大和市	3
川崎市	2	伊勢原市	5
相模原市	12	海老名市	4
横須賀市	3	南足柄市	1
平塚市	6	綾瀬市	2
鎌倉市	6	葉山町	1
藤沢市	8	寒川町	1
小田原市	3	開成町	1
茅ヶ崎市	3	愛川町	1
逗子市	2	清川村	1
秦野市	4	合 計	90
厚木市	3		

お知らせ

- ・会則は、会報に同封いたしましたので、ご覧ください。
- ・平成29年秋、会員募集について国保連合会ホームページを改変しました。

〈連絡先〉 神奈川県国民健康保険団体連合会 企画事業部 保健事業課
 電話 045-329-3462 FAX 045-329-3444
 E-mail : hoken@kanagawa-kokuho.or.jp